

ふくしま男女共同参画プラン(R3 改定版)における 重点的な取組と代表指標の推移について

ふくしま男女共同参画プラン(R3 改定版)における重点的な取組と代表指標の推移については、以下のとおり。

① 男女共同参画の理解促進と実践拡大

男女共同参画についての認知度は着実に増加していますが、意識調査によると、固定的な性別役割分担意識は依然として根強く、家庭や地域の「習慣・しきたり」において男女の不平等感が引き続き高いことが明らかになったことから、家庭や地域等社会全体における男女共同参画の広がりや取組の拡大を目指します。

【代表指標】 地域において、女性の社会参画が進んでいると回答した県民の割合

R3 25.6% → 目標値 (R12) 67%以上
R5 21.7% 目標値に対する達成度：32.3%

◎主な取組概要

・女性活躍促進事業

女性が活躍できる環境づくりや職場・家庭における性別役割分担意識の解消を図るため、ふくしま女性活躍応援会議と連携し、組織トップの意識改革や女性の人材育成、ワーク・ライフ・バランスの促進に取り組む。

〈指標の推移〉

R3	R4	R5
25.6%	23.7%	21.7%
-	-1.9	-2.0%

(令和5年度「福島県政世論調査」)

② 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の促進

女性が出産・育児などにより就業継続が困難な場合があることや、男性の長時間労働による仕事中心の生活スタイルが依然として見受けられることから、仕事や家庭、地域生活などにおいて、両立を含めた多様なバランスを実現できる環境整備を進めるために「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の促進に努めます。

【代表指標】 福島県次世代育成支援企業認証数

R3 875件 → 目標値 (R12) 1,707件(上方修正)
R5 1,081件 目標値に対する達成度：63.3%

◎主な取組概要

- ・次世代育成支援企業認証事業
仕事と育児の両立支援に積極的に取り組む中小企業や、仕事と生活のバランスがとれる働きやすい職場づくりに総合的に取り組む企業を認証する。
- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業
中小企業の管理者等にワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発を行い、仕事と生活の調和のとれた職場環境づくりを推進するためアドバイザーを派遣するとともに、ワーク・ライフ・バランスの取組が特に優れている企業を表彰する。

〈指標の推移〉

R3	R4	R5
875 件	947 件	1,081
-	+72	+134

③ 継続した女性のエンパワーメント^{※1}の促進

特に女性の窮状が様々な場面で引き続き見受けられ、真の男女平等の実現に向け男女共同参画社会を形成するためには、女性のエンパワーメントに継続して取り組んでいく必要があります。

※1 エンパワーメント (empowerment)

力をつけること。個々の女性が自ら意識と能力を高め、政治的、経済的、社会的及び文化的に力を持った存在になること。

【代表指標】 県の審議会等における委員の男女比率

R3 35.5% (女性委員) → 目標値 (R12) いずれの性も 40%を
下回らない
R6 38.8% 目標値に対する達成度：97.0%

◎主な取組概要

- ・「審議会等への女性の登用促進要綱」による女性委員の登用促進
県審議会等の委員の選任（改選）時に事前協議を行うとともに、あらゆる機会を通じて、女性委員の登用促進を図る。

〈指標の推移〉

R3	R4	R5	R6
35.5%	35.9%	38.4%	38.8%
-	+0.4	+2.5	+0.4

(参考)いずれの性も 40%を下回らない審議会等(R6)→83 審議会等 59